

令和7年度「年末年始の輸送等に関する安全総点検」の取組の  
実施にあたって  
～鉄道局長メッセージ～

鉄軌道事業者の皆様へ

今年も残り1か月を切り、まもなく輸送の繁忙期となる年末年始を迎えます。

国土交通省では、国民が安心して鉄道を利用できるよう、これまでも全力をあげて鉄道輸送の安全・安心の確保に取り組んでいるところです。今年も、過去の重大な事故を風化させることなく、得られた教訓を改めて見直し、安全への意識を高め続けることは極めて重要であるとの考えの下、安全統括管理者研修を開催する等、鉄道輸送の安全確保に万全を期すべく、安全統括管理者や運転管理者等に対して折に触れて注意喚起しております。

しかしながら、残念なことに、乗客が死亡する人身障害事故や衝突、脱線等の事故、新幹線の列車分離インシデント、架線の施工不良や不適切な保線作業等が発生したほか、運転免許を受けていない者が列車を操縦する事案、新幹線の運転士が一時運転席を離席する事案等、乗務員等による不適切な取扱い事案も発生しました。また、駅構内における刃物による刺傷事案等もございました。

鉄軌道事業者にとって、輸送の安全確保は、最も基本的、かつ、最も重要な使命であり、暴力からの旅客の保護においては、鉄軌道事業者にも重要な役割が期待されています。

これから迎える年末年始には、事故等を起こすことなく、また、暴力行為を許すことなく、国民の皆様が安心して鉄道をご利用いただくためにも、このたびの安全総点検の取組を遺漏なく実施いただきますよう、お願いいたします。

令和7年12月10日

国土交通省鉄道局長 五十嵐徹人